

整理番号M-2709A 手指消毒用ケア・コール
 株式会社ニイタカ

作成日： 2009年12月5日
 改訂日： 2017年10月2日

安全データシート(製品安全データシート)

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名 手指消毒用ケア・コール
 会社名 株式会社ニイタカ
 住所 〒532-8560 大阪市淀川区新高1-8-10
 電話番号 06-6395-2717
 FAX番号 06-6395-2536
 担当部門 技術部
 緊急連絡電話番号 06-6395-2410

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分3
 健康に対する有害性
 急性毒性（経口） 区分外
 急性毒性（経皮） 区分外
 急性毒性（吸入：気体） 分類対象外
 急性毒性（吸入：蒸気） 区分外
 急性毒性（吸入：粉塵およびミスト） 区分外
 皮膚腐食性／刺激性 分類できない
 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2B
 呼吸器感作性 分類できない
 皮膚感作性 分類できない
 生殖細胞変異原性 分類できない
 発がん性 区分1A（大量に経口摂取した場合）
 生殖毒性 区分1A
 特定標的臓器毒性（単回暴露） 区分3（気道刺激性、麻酔作用）
 特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分1（肝臓）、区分2（中枢神経系）
 吸引性呼吸器有害性 分類できない
 環境に対する有害性
 水生環境有害性（急性） 分類できない
 水生環境有害性（慢性） 分類できない
 オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

引火性液体及び蒸気

眼刺激

発がんのおそれ（大量に経口摂取した場合）

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ
 眠気又はめまいのおそれ
 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害（肝臓）
 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ
 （中枢神経系）

注意書き

[予防策] :

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。
 禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 保護手袋／保護眼鏡を着用すること。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 この製品を使用するときは、飲酒をしないこと。

[対応] :

吸入した場合：
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合
 医師の診断／手当を受けること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚又は髪に付着したした場合：
 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
 目に入った場合：
 水で数分間注意深く洗うこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
 外すこと。その後も洗浄を続けること。
 目の刺激が続く場合：
 医師の診断／手当を受けること。
 火災の場合：
 消火するために粉末消火剤、炭酸ガス消火剤を用いること。
 大規模火災には耐アルコール性泡消火剤などを用いて空気を
 遮断することが有効である。

[保管] :

密閉して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。

[廃棄] :

内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い
 廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品、混合物の区別
 成分

混合物
 塩化ベンザルコニウム 0.05w/v%
 エタノール

グリセリン
精製水

【4. 応急措置】

目に入った場合	すぐに水又はぬるま湯で洗うこと。
飲み込んだ場合	水を飲ませて吐かせるなどの処置をして、医師の手当てを受けること。

【5. 火災時の措置】

消火剤	水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の消火方法	(周辺火災の場合) 消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。 (着火した場合) 速やかに容器を安全な場所に移し、適切な消火剤を使用して消火する。移動不可能な場合には、容器および周辺に対して適切な消火剤で消火する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。 屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全に退避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
局所排気・全体換気	換気を良くして使用することが望ましい。
注意事項	なし
安全取扱い注意事項	取扱い後は手・顔等を十分に洗い、うがいをする。 みだりに加熱、加減圧したり、噴霧、蒸散させない。

保管

適切な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 他のものと混同しないように保管する。
安全な容器包装材料	他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器を使用する。 (商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

【8. 暴露防止及び保護措置】

保護具:

呼吸器の保護具	必要に応じてマスクなどを着用
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

【9. 物理的及び化学的性質】

(手指消毒用ケア・コールとして)

外観	無色透明液状
臭い	エタノール臭
pH	7.3±1.0(原液、25°C)
比重	0.901 (15°C、代表値として)
溶解性	水と任意の割合で溶解

(エタノール分100%として)

外観	無色透明液状
臭い	特有の芳香
pH	知見なし
融点・凝固点	-114.5°C
沸点、初留点と沸騰範囲	78.32°C
引火点	13°C (密閉)、18°C (開放) [60w/w% : 22.6°C]
自然発火温度	439°C
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	3.3~19.0v/v% (空气中)
蒸気圧	5,878Pa (44.1mmHg) (20°C)
蒸気密度	1.59
比重	0.78493 (25°C)
溶解性	水と任意の割合で混合
オクタノール/水分配係数	-0.30 (log Pow)
分解温度	知見なし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して安定である。 日光、熱の影響で匂いに変化する恐れがある。
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	知見なし

【11. 有害性情報】

(エタノール分100%として)

刺激性	皮膚	ラビット		400mg、開放、症状（軽度）
	皮膚	ラビット		500mg/24h、症状（重度）
	目	ラビット		100mg/24h、症状（中度）
変異原性	小核	マウス（腹腔）		1, 240mg/kg・48h
生殖能	吸入	ラット	TCL ₀	20, 000ppm/7h、妊娠、1～22日発育異常
	経口	ラット	TDL ₀	44g/kg、妊娠、7～17日発育異常
一般毒性	吸入	ラット	LC ₅₀	20, 000ppm/10h、毒性未評価
	経口	ヒト	LDL ₀	1, 400mg/kg、行動、胃腸（吐気）
癌原性	経口	ヒト(男)	TDL ₀	700mg/kg、行動（精神生理学上）
	経口	ラット	LD ₅₀	7, 060mg/kg、呼吸器系
	注射	ラット	LD ₅₀	1, 440mg/kg、呼吸器系
	注射	犬	LDL ₀	1, 600mg/kg、運動失調、呼吸器系
	腹腔	哺乳類	LD ₅₀	4, 300mg/kg、運動失調
	経口	マウス	TDL ₀	320mg/kg/50週、毒性未評価

【12. 環境影響情報】

(エタノール分100%として)

水中生物への影響	マスの幼魚	LC ₅₀	11. 2g/L・24h
	コイの一種	LC ₅₀	18～13. 4g/L・96h
	クレークチャブ	LC ₅₀	7g/L・24h
	グッピー	LC ₅₀	11g/L・7日

【13. 廃棄上の注意】

【7. 取扱い及び保管上の注意】の項を参照のこと。
内容物を廃棄する場合は、廃棄物処理業者に処理を依頼する。
使い終わった容器は、管轄自治体のルールに従い処理する。

【14. 輸送上の注意】

国際規制	国連番号：1170 国連分類：3（引火性液体類） 容器等級：Ⅲ 海上規制情報：IMOの規定に従う。 航空規制情報：ICAO／IATAの規定に従う。
国内規制	適用法令の定めるところに従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	【7. 取扱い及び保管上の注意】の項の記載による他、

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、
 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 高圧ガスとの混載を避ける。
 消防法による第1類並びに同第6類の危険物との混載を避ける。

緊急時応急措置指針番号 127

【15. 適用法令】

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	医薬部外品
消防法	該当しない
労働安全衛生法第57条の2第1項の政令で定めるもの	エタノール 57.22%
労働安全衛生法施行令	別表第1危険物4 引火性の物
危険物船舶運送及び貯蔵規則	引火性液体類 中引火点引火性液体
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの	なし
毒物及び劇物取締法	該当しない
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	該当しない
化審法	該当しない

【16. その他】

参考文献	新指定医薬部外品の添付文書等に記載する使用上の注意等について (薬食審査発第03290006号、薬食案発第0329001号) アルコールハンドブック9版 技報堂出版(1997年)
記載内容の問い合わせ先	
会社名	株式会社ニイタカ
住所	〒532-8560 大阪市淀川区新高1-8-10
担当部門	技術部
電話番号	06-6395-2410
FAX番号	06-6399-2053

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
 また、記載事項は通常の実用を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
 なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。